

老人福祉センター横雲荘指定管理者申請者事業計画

江南区健康福祉課

評価項目	新潟市社会福祉協議会(選定者)
<p>1 法人の評価</p> <p>事業者の概要</p>	<p>代表者 社会福祉法人 新潟市社会福祉協議会 会長 関 昭一</p> <p>設立 531.3.29</p> <p>資産の総額 1,765,308千円</p> <p>従業員数 役員 63人 正職員 226人 臨時・パート職員 1,542人</p> <p>事業内容 地域在宅福祉活動推進・ボランティア活動推進・福祉教育の推進・情報、相談及び広報活動の推進・資金貸付・介護保険事業・イベント・障がい者自立支援事業・各種福祉事業</p>
<p>当該施設の管理運営の基本方針等 公正・透明性のある運営</p>	<p>関係法令を遵守し、老人福祉センターの設置目的である高齢者への各種相談、健康の増進、教養の向上及びレクリエーションのための便宜を供与するための施設運営に十分努め、もって江南区における高齢者の生きがいづくり、仲間づくりに大いに貢献したい。施設管理の面からは、安全管理、衛生管理に十分配慮した運営に努め、省エネルギー、省資源、廃棄物減量など環境への負荷の環境を十分努力する。</p> <p>当施設の指定管理を現在も受託しており、当該施設運営のノウハウを熟知している。今後も、利用者へのサービス向上に視点を置いた管理運営を心掛けていく。特に、高齢者の生活上の悩み事、心配事への相談対応やボランティア活動の窓口として高齢者の社会参加並びに要介護予防の視点で支援、対応ができる。</p>
<p>申請者の実績</p>	<ul style="list-style-type: none"> 老人福祉センター黒崎荘・豊栄さわやか老人福祉センター・小須戸老人福祉センター・いこいの家西川荘 中之口老人福祉センター・老人福祉センター横雲荘(当施設)
<p>職員の研修計画等</p>	<p>管理人 ・ 2名 嘱託職員1名(1日8時間 週5日勤務) 臨時職員1名(1日8時間 週5日勤務)</p> <p>資格 管理人は、危険物取扱者免状(丙種)取得者、消防署主催の救急法講習等受講者をあてる。</p> <p>職員の研修計画について</p> <p>年2回ほど他の老人福祉センターの運営状況を視察したり、情報交換会を実施したりして、職員の資質向上に向けた研修の機会を持ちたい。なお、安全管理の面から年2回以上の避難訓練や救急法講習会の機会を持ちたい。</p>
<p>機密・個人情報保護の管理力</p>	<p>厚生労働省のガイドラインに基づき、「個人情報保護規程」「コンピュータ情報システムの運用管理に関する規程」を整備している。職員等の従事者に対しては、研修会を行ったり、マニュアルを整備するなど周知・徹底を図っている。</p>
<p>2 施設管理の評価</p> <p>高齢者への配慮</p>	<p>利用者の体調が悪くなった場合や、センター内で困りごとが生じた場合等、遠慮なく職員に申し出ただけのように貼り紙を掲示したり、職員へも常日頃から利用者の変化等について注意しておくよう指示する。</p>
<p>利用者サービスの向上</p>	<ul style="list-style-type: none"> 職員は、名札を常時つけておく。 職員は、あいさつや利用者への声掛け等を常に心掛ける。 利用者へも施設利用におけるマナーの遵守をお願いする。(チラシを置いたり、掲示したりする) 利用者が気軽に書けるアンケート用紙を設置。定期的に内容を集計し、今後の運営上の参考とする。
<p>衛生管理・安全対策</p>	<p>1 防犯</p> <p>施設内の夜間警備については、別途業務再委託するものとする。職員の勤務時間外を問わず、緊急性のある事項が生じた場合には、緊急連絡網等により上司、江南区役所、各関係機関等の判断を仰ぐ。</p> <p>2 防災</p> <p>実践に即した避難訓練を年2回実施する。訓練やシミュレーションを通して、火災や災害が発生した場合を想定し、夜間や休日等を問わず、職員の出勤体制を定めたり、職員の初動行動をマニュアル化するなど平常時から検討しておく。</p> <p>3 事故</p> <p>事故の未然防止の観点から、江南区社会福祉協議会職員の協力も得ながら、管理人で定時間おきに入浴施設をはじめ、施設供用部分を見回しする。</p> <p>利用者の体調に関する緊急事項の場合は、併設されている江南区社会福祉協議会(衛生管理者免許保有)の協力を得る。</p> <p>4 浴槽、浴室、脱衣場の衛生管理</p> <ul style="list-style-type: none"> 2週に1回の割合で浴槽、浴室の消毒を、月に1回の割合で棚カゴを含め脱衣室の消毒を行う。 浴槽は毎日換水、及び1日2回塩素濃度測定をして、適正な浴室管理をする。 <p>5 施設の清掃</p> <ul style="list-style-type: none"> 施設内の各箇所については、毎日清掃する。 便器内面は原則として週1回尿着色防除を行うものとし、便器外面及びその付帯部、その他衛生陶器は毎日トイレトクレンザーを使用し拭き上げをする。 塩ビ系床は水拭きし、拭き上げをする。 茶器等の後始末も毎日実施する。 月に1回の割合で便所の消毒、ねずみ、昆虫等の点検を行う。常に清潔なイメージを持たれるよう注意をする。
<p>管理経費削減の具体的な取り組み</p>	<p>経理規程に契約の種類、金額に応じた一般競争入札基準を定めているほか、予定価格が少額であるため随時契約としているものについては、複数の業者から見積もり合わせを実施するなどして経費削減に努めている。平成11年度より「新潟市環境保全率先実行計画」に準じ、省資源、省エネルギー、事務用紙等の廃棄物削減などの取り組みを行っている。</p>
<p>3 事業の評価</p> <p>健康づくり・介護予防についての情報収集及び提供</p> <p>高齢者の生きがい推進事業等実施に関する提案</p>	<p>健康づくりの提供については、高齢者生きがい推進事業の中で、外部講師を招き、3B体操教室やトリットボール教室などの事業を企画する。介護予防については、当会が受託している横越地区家族介護教室や、地域包括支援センター大江山・横越と連携を図りながら情報を共有する。ボランティアの活用や地域住民との交流を積極的に行っている。商工会議所との交流や福祉交流センタークローバーと定期的に交流をしている。地域の福祉団体や福祉施設と高齢者福祉向上の情報交換をしている。他の老人福祉センターと連絡会議を定期的実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> 民謡や舞踊サークルの生きがい交流事業 講師を招いて健康づくり講座(トリットボール教室、3B体操教室) 高齢者の各サークルに対し、積極的な支援を行う。(陶芸教室)・講演会と地域探訪を実施(高齢者大学)
<p>4 協力体制の評価</p> <p>併設施設での施設管理における問題点とその対応策</p>	<p>併設されている江南区社会福祉協議会と施設の管理運営上何ら問題ないとする。また、逆に緊急時での対応が必要となる場合、人員、物資とも双方で協力関係が容易である。</p>